

3 . 平成 20 年新春講演会・賀詞交換会

(平成 20 年 1 月 25 日プラザ菜の花)

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



ただいま紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の新春講演会、賀詞交換会の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。1 月もすでに 25 日となり月末近くとなってしまいましたが、皆様改めまして新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中たくさんの会員の方にお集まりいただいております。ご来賓といたしまして、監督官庁である千葉県計量検定所より菊地所長様、塚本企画指導課長様、同じく企画指導課の木口様、また、関連団体として財団法人千葉県薬剤師会検査センターよりご出席いただいております。また、当協会の歴代会長、顧問の方々にも出席いただいております。さらに、この後、千葉県環境生活部大気保全課の田中様、及びアジレントテクノロジー株式会社の今野様より V O C 規制に関連した最新の行政情報と、P F O S に関連した内容でのご講演をいただく予定となっております。本日ここにお集まりいただきました多数の方々に、協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、最近の経済動向としては、サブプライムローン問題に端を発した世界的な株安や円高、また原油高騰など不安定な要素が数多く見受けられます。一方、地球環境問題について、これから取り組むべき大きなテーマとして広く認識され、年末年始にはマスコミで多数報道され、地球温暖化の防止に向けて、京都議定書の発効や 7 月に予定されている洞爺湖サミットでの議論など、これまで以上に環境問題が話題に上る 1 年となりそうです。

さて新しい年となりましたが、昨年 2007 年を振り返ってみますと、「偽」(いつわり)という字に象徴されたように、食品の品質管理や、産地や賞味期限の偽装、さらには年明けには製紙業界で古紙配合率のデータをめぐって、環境偽装という事案も発生しております。

私たち千葉県環境計量協会では、「倫理綱領」2007 年 4 月総会にて制定いたしました。

基本と正道を守り、コンプライアンスを含め、企業または技術者個人として、環境計量の重要性を十分に認識して、分析の精度管理、技術の向上のために、これからも地道な努力を続けていくことが必要であると、私は認識しております。また、今後も関係機関や会員の皆様には、協会活動への一層のご理解とご協力を改めてお願いする次第です。

最後に本日の新春講演会、賀詞交換会がここにお集まりいただいた皆様のお役に立ちますとともに、本年 2008 年が皆様方及び千葉県環境計量協会にとって、実りの多い素晴らしい 1 年となることを心より祈念いたしまして、簡単ですが年頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。